2021 ポリテクセンター新潟

ハロートレーニング ～急がば学べ～

能力開発セミナーガイド

2021.4 ▼ 2022.3

技能を身に付け
更なる高みへ
ステップアップ！

Contents

◆事業主の皆様へ……1P
在職者訓練（能力開発セミナー）
◆セミナー受講のご案内……2P
◆よくある質問……3P
◆2021 年度能力開発セミナー年間日程表……4P ～ 7P
◆コース体系（望ましい受講順序）……8P ～ 10P
◆コース案内……11P ～ 26P
機械系コース / 電気・電子系コース / 居住系コース
◆生産性向上支援訓練のご案内……27P
◆指導員派遣（講師派遣）……28P
◆施設設備貸与……29P
◆北陸ブロック能力開発施設のご案内……30P ～ 31P
◆能力開発セミナー受講申込書……32P

◉ 事業主の皆様へ

在職者訓練（能力開発セミナー）

「生産性や技能・技術の向上」や「新たな製品づくり」といった企業の生産現場が抱える課題解決のために、機械系、電気・電子系、居住系の「ものづくり分野」を中心とした、設計・開発、加工・組立、工事・施工、設備保全などの訓練コースを体系的に実施しています。

レディーメイド型セミナー

在職者の方々を対象に技能・技術・知識の向上、能力開発を目的に各種コース（機械系、電気・電子系、居住系）を年間通じて実施しています。

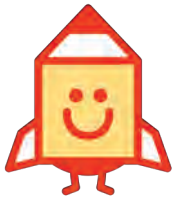
オーダーメイド型セミナー

レディーメイド型セミナーでは日程や時間帯が合わない、自社の課題や目的に合った研修を実施したいなどのご要望に対し、企業等担当者と当センターでの相談の上、セミナー計画を作成し実施するセミナーです。

オーダーメイド型セミナー計画のポイント

1. セミナーガイドでご案内しているコースは、原則全てオーダーメイド型セミナーとしても実施することができます。
2. 研修会場は原則当センターとなりますが、出張セミナーにも対応します。
3. 実施人数は原則５名以上とさせていただいていますが、別途ご相談ください。
4. 研修時間は１コース12時間以上で１日６時間として、２日以上です。
5. 受講料は当センターの規定に基づき算定しご提示します。

※ご相談の内容、日程などご要望に添えない場合もありますので予めご了承ください。



オーダーメイド型セミナーの活用事例

ご相談対応
（内容・日程・受講者数など）

↓

実施内容のご提案
受講料の見積額の提示

↓

実施内容・受講料の確認

↓

受講料の請求と納入

↓

セミナーの実施

A 事業主様

課題

将来的な業務効率化のため、3次元CADを導入する検討をしているが、実際に使用した上で業務効率向上がどのように実現できるのか、また、社員が使いこなせるのかを確認する必要性があった。

また、実践的なレベルで使用することで、実務への導入イメージをつかみたいが、業務の関係上日程をあまり取ることは難しいため、2日程度で実務レベルでの研修を実施したい。

コース内容

日程	午　前	午　後
1日目	1．設計の流れと検証ツール 2．アセンブリ３ヶ条 3．設計で重要な部分での着目点	4．部品の作成 5．アセンブリの基準とサブアセンブリ基準の関係
2日目	1．ボトムアップアセンブリ 2．アセンブリ検証ツール 3．トップダウンアセンブリ	1．総合課題（トップダウンアセンブリ）

お問い合わせ先　訓練課受講者第二係　TEL：0258-37-0450

◉ セミナー受講のご案内【必ずお読みください】

1 お申込み

●事前にお電話で希望コースの空き状況をご確認ください。
●空き状況確認後、「能力開発セミナー受講申込書」に必要事項を記入の上、FAXまたは郵送・持参によりお申し込みください。なお、当センターから申込書到着のご連絡はいたしません。（電話での受付はしておりません。）

2 受講料の納入

●セミナー開講日の14日前までを目途に受講料の「請求書」及び「受講票」を送付いたします。なお、お手元に届かない場合には、お手数でもご連絡ください。
●セミナー開講日の７日前までに銀行へ払い込みください。（振込手数料は受講者負担となります。また、現金でのお取り扱いは行っておりませんのでご了承ください。）

3 キャンセル及び受講者の変更

●お申し込み後の「キャンセル」は、開講日の７日前までに訓練課受講者第二係へ必ずご連絡ください。（受講料をお振込み後、開講日の７日前までのキャンセルについては、受講料を返金いたします。開講日前６日以内のキャンセルについては、受講料の返還はできませんのでご了承ください。また、原則として、受講料は教材等の準備の都合により、開講日の７日前まで全額をお振込みいただきます。）
●受講者の変更は開講日前日までに訓練課受講者第二係へご連絡ください。

4 キャンセル待ち

●定員以上のお申込みがあった場合はキャンセル待ちとさせていただきます。キャンセルがあり、受講可能となった場合は14日前までを目途にご連絡いたします。
（全コース受付は先着順とさせて頂きますが、原則として事業主団体、企業からの申込みを優先し、受講決定させていただきますのでご了承願ください。）

5 コースの中止と変更

●受講申し込みが一定の人数に達していない場合や感染症の拡大状況等により中止または日程変更をさせていただく場合がありますのであらかじめご了承ください。
その場合は、セミナー開始日までに文書または電話にてご連絡いたします。
なお、中止になった場合は、納入いただいた受講料は返金いたします。

6 新型コロナウイルス感染防止対策

●感染防止対策の取り組みが社会全体の感染症拡大防止につながることを認識した上で、「3つの密（密閉・密集・密接）」を避けるための基本的感染症対策に取り組んでいます。
なお、飛沫感染等を防ぐため、講師はフェイスガード等を装着し、受講される方にはマスクの着用をお願いしています。

◉ よくあるご質問（Q & A）

Q1. 受講を申し込む場合の条件はありますか？

A 各コースに関する基本的知識を有する方としております。より詳細な条件を設定しているコースがありますので、コース案内の「対象者」欄でご確認ください。

Q2.「能力開発セミナー受講申込書」になぜ生年月日を記入する必要があるのですか？

A 所定の要件を満たした方に訓練の修了書を交付するため、必要とされます。西暦でご記入ください。

Q3. 申し込んだコースを欠席する場合はどのようにしたらよいですか？

A お電話にてご連絡ください。コース日程をすべて欠席される場合は、使用するテキスト等をお送りいたします。

Q4. 申し込んだコースが中止または変更になることはありますか？

A 受講申し込みが一定の人数に達していない場合や講師の都合等、やむを得ない事情により中止または日程変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、中止コースの受講料を既にお支払い済みの場合は返金させていただきます。

Q5. 受講する際の服装、持ち物はどのようにしたらよいですか？

A 服装については特に決まりはありませんが、本紙のコース案内及び「受講票」の「持参品」欄に作業服等の指定がある場合は、ご持参願います。また、持ち物につきましても同様に当日、ご持参願います。

Q6. 駐車場は利用できますか？

A 受講生用の駐車場を整備しておりますが、現在、実習場の建替え工事により、駐車場の収容台数を制限しております。なるべく、公共交通機関等による来所にご協力ください。なお、駐車場内での事故等につきましては、当センターでは責任を負いかねますのでご了承ください。

Q7. 受講生用の食堂はありますか？

A 当センターには食堂がありますので、食券を購入いただきご利用ください。また、食堂では持参したお弁当を食べていただくことも可能です。なお、新型コロナウイルス感染防止のため、ソーシャルディスタンスを保った椅子の配列となっています。

Q8. 各コースの会場へはどのように行けばよいですか？

A「受講票」に会場を記載しています。また、会場を変更する場合がありますので、開講日に本館案内板をご覧になってください。

Q9. 同じコースなのにどうして受講料が違うのですか？

A 開催時期により、冷暖房費を含めていることから受講料に変動が生じるためです。

Q10. セミナー修了証書の交付条件はありますか？

A 修了証書は出席時間が12間以上かつ訓練時間の80％以上となる場合に交付いたします。なお、修了証書の再発行はできませんのでご了承ください。

Q11. セミナーの受講により、人材育成に係る教育訓練としての助成金を活用することができますか？

A 働く方々の人材育成を段階的体系的かつ効果的に促進するための人材開発支援助成金制度がありますが、受給要件、申請手続き方法などは厚生労働省ホームページをご覧ください。

◉ 2021年度 能力開発セミナー年間日程表

区分	コース番号	コース名	定員(名)	訓練時間	受講料(円)(税込み)	日数	掲載ページ	4月	5月	6月
機械系コース	1M010	生産現場に活かす品質管理技法	10	18	10,500	3	11P	13.14.15		
	1M011									
	1M020	精密測定技術（長さ測定編）	15	12	4,500	2	11P	15.16		
	1M021							27.28		
	1M022								13.14	
	1M023								27.28	
	1M024									17.18
	1M025									
	1M026									
	1M027									
	1M030	半自動アーク溶接技能クリニック	10	12	22,500	2	12P		8.9	
	1M031				21,000					
	1M040	NC旋盤プログラミング技術	12	24	11,000	4	12P		18.19.20.21	
	1M041				12,000					
	1M050	実践機械製図（各種投影法・寸法記入編） NEW	10	18	11,000	3	13P			2.3.4
	1M051									
	1M060	5S によるムダ取り・改善の進め方	15	12	9,500	2	13P			9.10
	1M061									
	1M062									
	1M070	フライス盤加工技術	6	24	23,000	4	14P			8.9.10.11
	1M080	ステンレス鋼の TIG 溶接技能クリニック	10	12	19,500	2	14P			26.27
	1M081				18,500					
	1M090	実践機械製図	12	24	12,000	4	15P			22.23.24.25
	1M100	フライス加工の理論と実際	12	12	6,500	2	15P			
	1M110	マシニングセンタプログラミング技術	12	24	12,000	4	16P			
	1M120	機械設計のための総合力学 NEW	12	18	10,000	3	16P			
	1M130	生産性向上を目指した生産管理手法	15	12	9,500	2	17P			
	1M140	被覆アーク溶接技能クリニック	10	12	21,500	2	17P			
	1M150	アルミニウム合金の TIG 溶接技能クリニック	10	12	19,000	2	18P			
	1M160	高効率・高精度穴加工技術	15	12	5,000	2	18P			
	1M170	2 次元CADによる機械設計技術（CAD操作編）	12	18	9,500	3	19P			
	1M180	旋盤加工技術	10	24	15,000	4	19P			
	1M190	3次元CADを活用したアセンブリ技術	12	18	9,500	3	20P			

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	実　施　場　所
								第1PC室
27.28.29								第1PC室
								測定室
								測定室
								測定室
								測定室
								測定室
20.21								測定室
		1.2						測定室
			14.15					測定室
								221教室、溶接実習場
		14.15						221教室、溶接実習場
								CAD室
						18.19.20.21		CAD室
								021教室
				24.25.26				021教室
								022・023教室
				4.5				022・023教室
							15.16	022・023教室
								測定室
								221教室、溶接実習場
	4.5							221教室、溶接実習場
								021教室
27.28								測定室
	3.4.5.6							CAD室
	18.19.20							CAD室
	25.26							022・023教室
		7.8						221教室、溶接実習場
			5.6					221教室、溶接実習場
			21.22					測定室
				10.11.12				CAD室
					14.15.16.17			測定室
						12.13.14		CAD室

区分	コース番号	コース名	定員(名)	訓練時間	受講料(円)(税込み)	日数	掲載ページ	4月	5月	6月
電気・電子系コース	1D010	一般用電気工作物の施工技術	20	24	9,000	4	21P			22.23.24.25
	1D011									
	1D030	現場のための電気保全技術	5	18	19,000	3	21P			
	1D031									
電気・電子系コース	1D040	有接点シーケンス制御の実践技術	10	18	10,500	3	22P			
	1D041									
	1D042									
	1D043									
	1D050	実践的PLC制御技術	10	12	6,500	2	22P			
	1D051									
	1D052									
	1D053									
	1D060	オープンソースによる画像処理・認識プログラム開発	10	18	14,000	3	23P			
	1D070	PLCプログラミング技術（SFC）	10	12	6,500	2	23P			
	1D080	PLCによるタッチパネル活用技術	10	12	6,500	2	24P			
居住系コース	1H010	実践建築設計3次元CAD技術	12	12	10,000	2	25P			19.20
	1H011									
	1H012									
	1H020	バリアフリー住宅の設計実践技術	12	12	9,500	2	25P			
	1H021									
	1H030	実践建築設計2次元CAD技術	10	12	8,000	2	26P			
	1H031									
	1H032									

Voice 能力開発セミナーを受講された方々と事業主の声をご紹介します。

受講者の声

2019年度満足度

97.7%

- 会社では解決できなかった疑問に答えていただいき、実際にレベルの高い溶接を近くで見ることができた。
- 何でもNCで加工するのが主流になってきているが、手送りやメモリを読むことの大切さなどが改めてわかった。
- 品質管理に移動したばかりで知識もなく、困っていましたが、今後、このセミナーの内容を活かしてより良い生産活動に役立てたい。
- 仕事上、自身で考え行動することが多かったので、基礎的なところで不安があったが、今回のセミナーで自信につながった。
- 0.01単位の公差範囲の製品を取り扱うことが多いため、測定ミスの減少につながった。
- アナログとデジタルの半自動溶接機や集塵機の設備があったりして、会社ではわからない機械や設備を知ることができ、今後の仕事に役立てたい。
- 知識、技術を新たに身に付け深めることができた。部下にも伝達、OJTできる内容だった。
- 5S、ムダについて、具体的な事例とともに学ぶことができた。グループワークで他の受講生の意見を聞けて、理解を深められて良かった。

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	実 施 場 所
								223教室
				9.10.11.12				223教室
13.14.15								225教室
						18.19.20		225教室
		1.2.3						223教室
			6.7.8					電気実習場
					1.2.3			電気実習場
							15.16.17	電気実習場
		16.17						第2PC室
			20.21					第2PC室
					15.16			第2PC室
						6.7		第2PC室
			27.28.29					第2PC室
				17.18				第2PC室
						25.26		第2PC室
								第3PC室
			30.31					第3PC室
							12.13	第3PC室
3.4								第3PC室
				20.21				第3PC室
	21.22							第3PC室
		25.26						第3PC室
							19.20	第3PC室

事業主の声

2019年度満足度

94.3%

- 品質管理技法を体系的に学べたため、一体的な知識・技法の習得につながった。
- 金型部は専門的な技術が必要なので、社内での指導にプラスされ生産性アップにつながった。
- 従業員全体が基礎的な知識を身に付けることにより、お互いの業務内容を理解できるようになる。
- 講習前は自分の感覚で作業していたが、講習後は具体的に数値で教わり、その結果、溶接の状態、溶け込みが良くなった。
- 正確な測定を早く処理することで、作業効率を向上することができた。正確な測定によりバラツキが少なくなり、品質の向上にもつながった。
- 社内での教育時間を生産への振り分けができる。(教育担当人材の不足)
- 5Sの取り組みを強化している中、進め方を学ぶことができた。

◉ コース体系（望ましい受講順序）

機械系コース

機械製図・CAD

- 実践機械製図（各種投影法・寸法記入編） NEW
  1M050 ～ 1M051 13 ページ
- 実践機械製図
  1M090 15 ページ

→
- 2次元CADによる機械設計技術（CAD操作編）
  1M170 19 ページ
- 3次元CADを活用したアセンブリ技術
  1M190 20 ページ

精密測定

- 精密測定技術（長さ測定編）
  1M020 ～ 1M027 11 ページ

汎用工作機械

- 実践機械製図（各種投影法・寸法記入編） NEW
  1M050 ～ 1M051 13 ページ
- 精密測定技術（長さ測定編）
  1M020 ～ 1M027 11 ページ
- 実践機械製図
  1M090 15 ページ

→
- 旋盤加工技術
  1M180 19 ページ
- フライス盤加工技術
  1M070 14 ページ

NC工作機械

- 実践機械製図（各種投影法・寸法記入編） NEW
  1M050 ～ 1M051 13 ページ
- 精密測定技術（長さ測定編）
  1M020 ～ 1M027 11 ページ
- 実践機械製図
  1M090 15 ページ

→
- NC旋盤プログラミング技術
  1M040 ～ 1M041 12 ページ
- マシニングセンタプログラミング技術
  1M110 16 ページ

★ご希望により、どのコースからも受講できますが、詳しい訓練の内容につきましては「コース案内」（11 ページから 27 ページ）をご覧ください。

切削理論

フライス加工の理論と実際
1M100 15 ページ

高効率・高精度穴加工技術
1M160 18 ページ

機械設計技術・生産技術

機械設計のための総合力学 NEW
1M120 16 ページ

生産管理／品質管理

5Sによるムダ取り・改善の進め方
1M060 ～ 1M062 13 ページ

→ **生産性向上を目指した生産管理手法**
1M130 17 ページ

生産現場に生かす品質管理技法
1M010 ～ 1M011 11 ページ

各種溶接

半自動アーク溶接技能クリニック
1M030 ～ 1M031 12 ページ

アルミニウム合金のTIG溶接技能クリニック
1M150 18 ページ

ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック
1M080 ～ 1M081 14 ページ

被覆アーク溶接技能クリニック
1M140 17 ページ

電気・電子系コース

制御技術分野（有接点・PLC 等による制御関連の技術を習得したい方）

現場のための電気保全技術
1D030 ～ 1D031
21 ページ

一般用電気工作物の施工技術
1D010 ～ 1D011
21 ページ

有接点シーケンス制御の実践技術
1D040 ～ 1D043
22 ページ

実践的PLC制御技術
1D050 ～ 1D053
22 ページ

PLCによるタッチパネル活用技術
1D080
24 ページ

PLCプログラミング技術（SFC）
1D070
23 ページ

情報関連技術分野（ネットワーク構築関連技術を習得したい方）

オープンソースによる画像処理・認識プログラム開発
1D060 23 ページ

居住系コース

建築計画実践技術（実践的な図面等作成）

実践建築設計2次元CAD技術
1H030 ～ 1H032 27 ページ

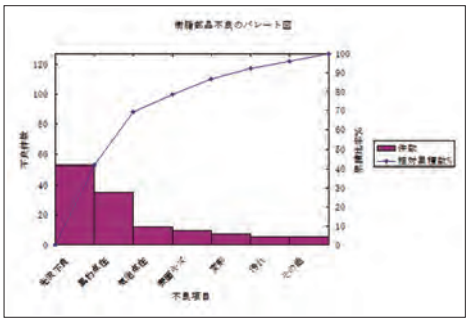
実践建築設計3次元CAD技術
1H010 ～ 1H012 26 ページ

バリアフリー住宅の設計実践技術
1H020 ～ 1H021 26 ページ

◉ コース案内《機械系》

生産現場に活かす品質管理技法

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1M010	4/13㈫・14㈬・15㈭	9:30～16:30	18H	10名	10,500円
1M011	7/27㈫・28㈬・29㈭				

対 象 者	生産効率や品質向上に関し業務改善等の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	品質管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた科学的管理手法として統計的手法を活用した品質管理の各種手法について習得します。
講習内容	1．品質管理概論 2．表計算ソフトの機能 3．層別と基本統計量 4．実験データ分析・考察 5．ヒストグラム 6．パレート分析 7．散布図と単回帰分析 8．管理図 品質管理の代表的な手法である QC 7つ道具について表計算ソフトを用いて実践いたします。標準機能では、うまく対応できないところは、マクロ・VBA を使います。2003 以前のバージョンでも対応できます。  ［パレート図作成例］
使用機器	パソコン、EXCEL2016 又は 2019
持 参 品	筆記用具

精密測定技術（長さ測定編）旧コース名「精密測定技術」

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1M020	4/15㈭・16㈮	9:30～16:30	12H	15名	4,500円
1M021	4/27㈫・28㈬				
1M022	5/13㈭・14㈮				
1M023	5/27㈭・28㈮				
1M024	6/17㈭・18㈮				
1M025	7/20㈫・21㈬				
1M026	9/1㈬・2㈭				
1M027	10/14㈭・15㈮				

対 象 者	これから機械加工作業及び測定・検査業務に従事する技能・技術者又はその候補者
概　　要	加工部門、検査部門や新しくものづくりの仕事に従事する作業者が、精密測定の理論と測定機（ノギス、マイクロメータ等）を現場で正しく取り扱うための知識・技能を測定演習を通して習得することを目標とします。これから機械加工や測定・検査に従事する方に最適なコースです。
講習内容	1．コース概要 2．測定の重要性 3．長さ測定実習 4．まとめ 受講者の声 会社では指導されなかった測定器の使い方が学べた。 測定の正しい方法を勉強できた。 ［各種測定器］
使用機器	ノギス、外側マイクロメータ、デプスマイクロメータ、ダイヤルゲージ、ブロックゲージ、定盤、シリンダゲージ、ホールテスト
持 参 品	筆記用具、作業服（安全に作業ができる服装）

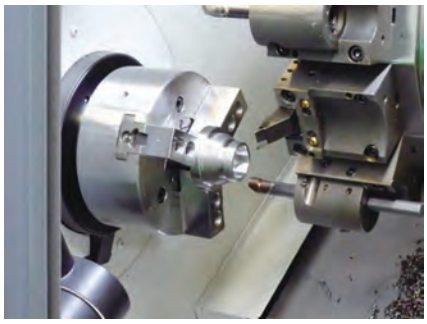
半自動アーク溶接技能クリニック

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1M030	5/8㈯・9㈰	9:30～16:30	12H	10名	22,500円
1M031	9/14㈫・15㈬				21,000円

対 象 者	アーク溶接作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	溶接加工の現場力強化をめざして、現在の習熟度を確認し、その結果に基づいた半自動アーク溶接作業の各種姿勢の溶接実習を通して、技能高度化に向けた適切な半自動アーク溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。
講習内容	1．半自動アーク溶接技術 (1) 半自動アーク溶接の特徴と機器 (2) 溶接材料 (3) 溶接施工前の段取り、各種姿勢時の溶接条件 (4) 溶接不良とその対策 2．溶接施工実習 (1) 要求に応じた溶接施工 イ．部分溶け込み溶接 ロ．完全溶け込み溶接 ハ．各種姿勢溶接 3．評価と問題解決法 (1) 製品の評価 (2) 問題点の把握、解決手法 4．まとめ [半自動アーク溶接実習]
使用機器	半自動溶接装置一式、安全保護具、器工具一式等
持 参 品	作業服、作業帽、安全靴、薄皮手袋、筆記用具

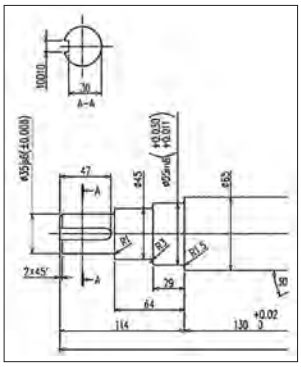
NC 旋盤プログラミング技術

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1M040	5/18㈫・19㈬・20㈭・21㈮	9:30～16:30	24H	12名	11,000円
1M041	1/18㈫・19㈬・20㈭・21㈮				12,000円

対 象 者	機械加工作業に従事する技能・技術者又はその候補者
概　　要	NC 機械加工の生産性向上をめざして、工程の最適化（改善）に向けたプログラミング課題実習と加工・検証実習を通じて、NC 旋盤作業に関する技術を習得します。 これから NC 旋盤を扱う方に最適なコースです。
講習内容	1．コース概要及び留意事項 2．各種機能とプログラム作成方法 3．プログラミング課題実習 4．加工の検証と評価 5．まとめ ※言語は FANUC 準拠です。 受講者の声 使ったことのないプログラムを使って、さらに加工法が増えた。プログラムを体系的に学べ、複合固定サイクルを実際に試すよいきっかけになった。  [加工イメージ]
使用機器	NC 旋盤、各種切削工具、各種測定機器
持 参 品	作業服、安全靴、安全帽、電卓、筆記用具

NEW 実践機械製図（各種投影法・寸法記入編）

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1M050	6/2㈬・3㈭・4㈮	9:30～16:30	18H	10名	11,000円
1M051	11/24㈬・25㈭・26㈮				

対 象 者	機械設計関連の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	機械設計／機械製図の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、技能継承に向けた設計現場で求められる機械製図の組立図及び部品図に関する総合的かつ実践的な知識、技能を実習を通して習得します。
講習内容	1．コース概要及び留意事項 2．製図一般 (1) 図面の役割 (2) 製図規格の確認 (3) 投影法の確認 (4) 図面より立体形状の実践的把握 3．機械製図上の留意事項 (1) 製図立体モデルより２次元図面への図示 (2) 加工を考慮した効果的寸法記入法 4．実践的設計図面の描き方 5．製図総合課題 6．まとめ ※１．幾何公差について修得したい方は、実践機械製図（コース番号 1M090）（6/22 ～ 25）の受講をお願いします。 ※２．CAD は使用しません。 ※３．立体モデルの投影と寸法記入に重点を置いたコースです。  [課題例]
使用機器	関数電卓、筆記用具、製図用具一式（卓上ドラフター 等）
持 参 品	筆記用具

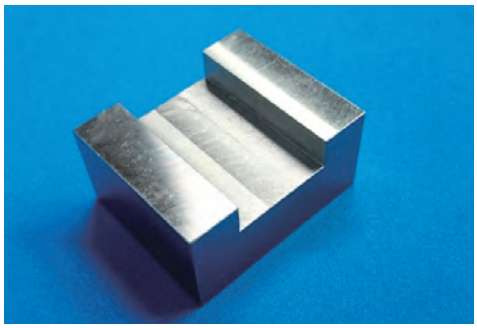
5S によるムダ取り・改善の進め方　外部講師活用

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1M060	6/9㈬・10㈭	9:30～16:30	12H	15名	9,500円
1M061	11/4㈭・5㈮				
1M062	2/15㈫・16㈬				

対 象 者	生産活動（生産効率や品質の向上等）の改善業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	製造現場の５S、ムダ取りの実践や指導力の向上による現場力の強化をめざして、生産現場で発生する問題の分析・改善技法及び指導技法を習得します。
講習内容	1．コース概要及び留意事項 2．生産現場の構造 3．５S 推進による現場の改善 (1) ５S とは何か、５S が必要か (2) ５S の進め方 4．ムダ取りの実践による現場改善 (1) ムダとは何か (2) ムダをどのように見つけるか (3) ムダ取りの進め方 5．現場改善のための指導技法 (1) ５S・ムダ取り推進のインフラづくり (2) ５S・ムダ取りを継続するには 6．まとめ [5S と PDCA サイクル]
使用機器	パソコン、プロジェクタ、ホッチキス、ハサミ
持 参 品	筆記用具

フライス盤加工技術

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1M070	6/8㈫・9㈬・10㈭・11㈮	9:30～16:30	24H	6名	23,000円

対 象 者	機械加工作業に従事する技能・技術者又はその候補者
概　　要	部品加工や治工具製作におけるフライス盤作業の技能高度化をめざして、加工方法の検討や段取り等を通して、実践的なフライス盤作業に関する問題解決能力を習得します。
講習内容	1．切削加工概論 2．課題図面理解及び加工工程の検討 3．フライス加工実習 （正面フライス加工、エンドミル加工） 4．製品評価 5．まとめ  ［加工例］
使用機器	フライス盤、各種工具、各種測定器具
持 参 品	筆記用具、作業服、安全靴、作業帽

ステンレス鋼の TIG 溶接技能クリニック

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1M080	6/26㈯・27㈰	9:30～16:30	12H	10名	19,500円
1M081	8/4㈬・5㈭				18,500円

対 象 者	TIG 溶接作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	溶接加工の現場力強化をめざして、現在の習熟度を確認し、その結果に基づいたステンレス鋼の TIG 溶接作業の各種姿勢の溶接実習を通して、技能高度化に向けた適切な溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。
講習内容	1．TIG 溶接技術 ⑴ TIG 溶接の原理と特徴、溶接電源及び装置について ⑵ 溶加棒及びシールドガスの選び方 2．ステンレス鋼種選定のポイント 3．溶接施工・　実習 ⑴ すみ肉溶接 ⑵ 各種姿勢突合せ溶接 ⑶ 適性条件の把握 4．溶接欠陥と対策 5．まとめ ［TIG 溶接実習］
使用機器	TIG 溶接装置一式、安全保護具、器工具一式 等
持 参 品	作業服、作業帽、安全靴、薄皮手袋、筆記用具

実践機械製図

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1M090	6/22㈫・23㈬・24㈭・25㈮	9:30～16:30	24H	12名	12,000円

対 象 者　機械設計関連の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

概　　要　機械設計／機械製図の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、技能継承に向けた設計現場で求められる機械製図の組立図及び部品図に関する総合的かつ実践的な知識、技能を実習を通して習得します。

講習内容

1．コース概要及び留意事項
2．製図一般
　(1) 図面の役割
　(2) 製図規格の確認
　(3) 投影法の確認
　(4) 図面より立体形状の実践的把握
3．機械製図上の留意事項
　(1) 製図立体モデルより２次元図面への図示
　(2) 加工を考慮した効果的寸法記入法
4．実践的設計図面の描き方
5．製図総合課題
6．まとめ
※１．各種投影法・寸法記入についての確認をし、寸法公差・幾何公差に重点を置いたコースです。
※ CAD は使用しません。

公差の種類	特性	記号
形状公差	真直度	—
	平面度	⏥
	真円度	○
	円筒度	⌭
	線の輪郭度	⌒
	面の輪郭度	⌓
姿勢公差	平行度	//
	直角度	⊥
	傾斜度	∠
	線の輪郭度	⌒
	面の輪郭度	⌓

［幾何公差例］

使用機器　関数電卓、筆記用具、製図用具一式（卓上ドラフター 等）

持 参 品　筆記用具

フライス加工の理論と実際

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1M100	7/27㈫・28㈬	9:30～16:30	12H	12名	6,500円

対 象 者　機械加工業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

概　　要　最適化（改善）に向けた切削検証実習を通して、フライス加工の理論と実際との相違点を学習し、生産現場における問題解決を図ることができる能力を習得します。

講習内容

1．フライス加工概論
2．エンドミルの選び方
3．エンドミルの使い方
4．正面フライスの選び方・使い方
5．エンドミルによる切削検証実習
6．まとめ
※フライス盤作業に関するセミナーではありません。

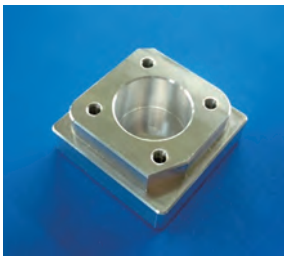
［加工例］

使用機器　立形マシニングセンタ、各種切削工具、各種測定機器

持 参 品　筆記用具、作業服、安全靴、作業帽、保護メガネ

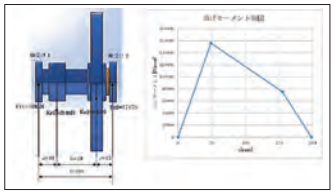
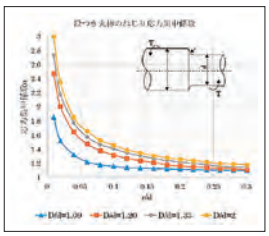
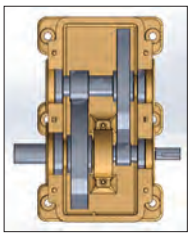
マシニングセンタプログラミング技術

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1M110	8/3㈫・4㈬・5㈭・6㈮	9:30～16:30	24H	12名	12,000円

対 象 者	機械加工作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	NC 機械加工の生産性向上をめざして、工程の最適化（改善）に向けたプログラミング課題実習と加工・検証実習を通じて、要求される条件を満足するためのプロクラム、工具補正の設定法などマシニングセンタ作業に関する技術を習得します。これからマシニングセンタを扱う方に最適なコースです。
講習内容	1．コース概要及び留意事項 2．各種機能とプログラム作成方法 3．プログラミング課題実習 4．加工の検証と評価 5．まとめ ※言語は FANUC 準拠です。 受講者の声 対話でやっていたがプログラムがわかった。 会社ではプログラムの学習時間がなかったのでよかった。 普段何気なくやっていることの意味がわかった。  ［マシニングセンタ及び NC 加工例］
使用機器	マシニングセンタ、データ入力装置、各種切削工具、測定機器
持 参 品	作業服、安全靴、安全帽、電卓、筆記用具

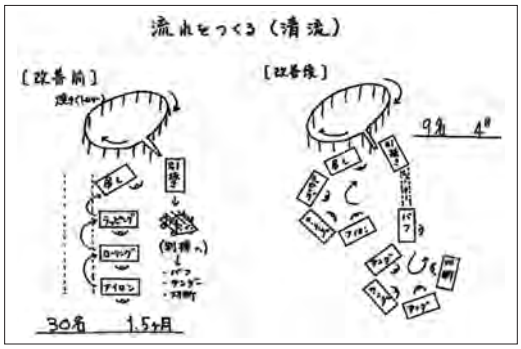
NEW 機械設計のための総合力学

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1M120	8/18㈬・19㈭・20㈮	9:30～16:30	18H	12名	10,000円

対 象 者	機械設計製図の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	機械設計／機械製図の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた機械の力学や材料力学、また機械要素設計（ねじ・軸・軸受・歯車）など詳細設計に必要な力学の全般を習得します。
講習内容	1. 直線運動・回転運動の力と動力 2. 引張試験と応力－ひずみ線図 3. 材料力学 負荷の種類と応力・変形 引張り・せん断・曲げ・ねじり 品物が壊れるとは 安全率と許容応力 動的強度 応力集中 4. 減速歯車装置の設計 ① 軸の設計 ② 歯車の設計 ③ 転がり軸受の設計    ［設計例］
使用機器	関数電卓・表計算ソフト
持 参 品	筆記用具

生産性向上を目指した生産管理手法　外部講師活用

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1M130	8/25㈬・26㈭	9:30～16:30	12H	15名	9,500円

対 象 者	生産現場における生産管理等の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	生産計画／生産管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた生産現場管理上の課題演習を通して、生産計画、生産体制、安全管理などの生産管理手法を習得します。
講習内容	1．生産性とは 2．生産管理と生産性向上 (1) 生産管理のフレームワーク (2) 生産管理を取り巻く環境 (3) 経営の視点で見た生産管理 (4) システム運用による生産性向上 3．現場改善による生産性向上 (1) ５Ｓ、目で見る管理 (2) 作業のムダを取る (3) ものづくりの流れを作る (4) 在庫を削減する 4．まとめ  [生産工程改善例]
使用機器	パソコン、プロジェクター、ホッチキス、ハサミ
持 参 品	筆記用具

被覆アーク溶接技能クリニック

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1M140	9/7㈫・8㈬	9:30～16:30	12H	10名	21,500円

対 象 者	アーク溶接作業に従事している技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	溶接加工の現場力強化をめざして、現在の習熟度を確認し、その結果に基づいた被覆アーク溶接作業の各種姿勢の溶接実習を通して、技能高度化に向けた適切な被覆アーク溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。
講習内容	1．被覆アーク溶接機に関する知識 (1) 被覆アーク溶接の原理と特徴 (2) 被覆アーク溶接棒の種類と管理 (3) 溶接施工前の段取り (4) 各種姿勢における溶接条件、溶接棒保持角度、アークの安定について 2．溶接施工実習 (1) 要求に応じた溶接施工 イ．完全溶け込み溶接 ロ．部分溶け込み溶接 ハ．各種姿勢溶接（N−2F、N−2V、N−２H） 3．評価と問題解決法 4．まとめ [被覆アーク溶接実習]
使用機器	被覆アーク溶接装置一式、安全保護具、器工具一式 等
持 参 品	作業服、作業帽、安全靴、薄皮手袋、筆記用具

アルミニウム合金の TIG 溶接技能クリニック

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1M150	10/5㈫・6㈬	9:30～16:30	12H	10名	19,000円

対 象 者	TIG 溶接作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	TIG 溶接作業の技能高度化をめざして、現在の習熟度を確認し、その結果に基づいたアルミニウム及びその合金の TIG 溶接作業の各種継手の溶接実習を通じて、技能の高度化に向けた適正な溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。
講習内容	1．TIG 溶接技術 ⑴ TIG 溶接の原理と特徴、溶接電源及び装置について ⑵ 溶加棒及びシールドガスの選び方 2．アルミニウム合金選定のポイント ⑴ アルミニウム合金の種類と適用時の留意点 ⑵ 使用目的による選定 3．溶接施工・実習 ⑴ 薄板（3㎜）のＴ字継手・重ね継手・角継手の溶接施工 ⑵ 薄板の完全溶込み突合せ溶接施工法 4．溶接欠陥と対策 5．まとめ ［TIG 溶接実習］
使用機器	TIG 溶接装置一式、安全保護具、器工具一式 等
持 参 品	作業服、作業帽、安全靴、薄皮手袋、筆記用具

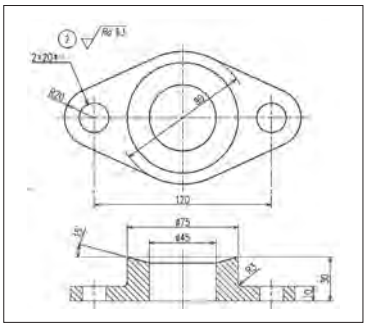
高効率・高精度穴加工技術

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1M160	10/21㈭・22㈮	9:30～16:30	12H	15名	5,000円

対 象 者	機械加工作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	各種穴加工用工具の特性を理解し、最適化に向けたマシニングセンタの実加工による検証実習を通じて、高能率・高精度に穴加工するための工具・工程・条件等の最適化技術を習得します。
講習内容	1．コース概要及び留意事項 2．穴加工用工具の各種特性 3．加工精度への影響と対策 4．穴加工実習 5．測定と検証 6．まとめ ［各種切削工具］
使用機器	立形マシニングセンタ、各種工具、各種測定機器
持 参 品	筆記用具、作業服、安全靴、作業帽、保護メガネ

2次元CADによる機械設計技術（CAD操作編）

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1M170	11/10㈬・11㈭・12㈮	9:30～16:30	18H	12名	9,500円

対象者	製造業全般の製品企画、設計、生産業務などに従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　要	機械設計／機械製図の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた構想段階から具体的加工の指示を出すための図面の作図を通して、CADを使用する場合の環境の構築、効果的かつ効率的使用法及びデータ管理方法について習得します。
講習内容	1．コース概要及び留意事項 2．機械製図の留意事項 3．製図効率を向上させるために (1) テンプレート、ブロックなど (2) 作図機能について (3) 寸法記入及び公差の使い方 (4) 製図段階でのCADの使い方 4．課題演習 5．まとめ  ［課題例］
使用機器	パソコン一式、AutoCAD、電卓
持参品	筆記用具

旋盤加工技術

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1M180	12/14㈫・15㈬・16㈭・17㈮	9:30～16:30	24H	10名	15,000円

対象者	機械部品等の旋盤加工作業に従事する技能・技術者
概　要	機械部品加工・治工具製作等に要求される条件を満たすとともに工程の低コスト効率化をめざして、旋盤作業による高精度な加工ノウハウと旋盤の保守及び精度維持に関する知識を習得します。
講習内容	1．概要 2．軸形状部品の加工 (1) 円筒の精密加工 (2) 外径段付き加工 (3) 外径溝入れ加工 3．内径段付きの加工 (1) 穴の精密加工 (2) 段つき穴の寸法公差 4．まとめ ［加工例］
使用機器	汎用旋盤、各種バイト、各種測定具
持参品	筆記用具、作業服、安全靴、作業帽、保護メガネ

3 次元 CAD を活用したアセンブリ技術

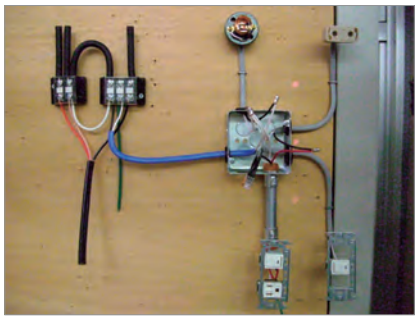
コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1M190	1/12㈬・13㈭・14㈮	9:30～16:30	18H	12名	9,500円

対 象 者	製品全体の設計・開発業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	機械設計の新たな品質の創造又は製品を生み出すことをめざして、高付加価値化に向けたアセンブリ機能を活用した検証実習を通して設計検討項目の検証方法を習得します。
講習内容	1．コース概要及び留意事項 2．設計とは ⑴ 製品設計とは ⑵ 設計の流れと検証ツール 3．CAD を活用したアセンブリとサブアセンブリの構築 4．検証ツール 5．ボトムアップモデリング演習 6．トップダウンモデリング演習 7．まとめ [3 次元製品構築モデル例]
使用機器	SolidWorks
持 参 品	筆記用具

◉ コース案内《電気・電子系》

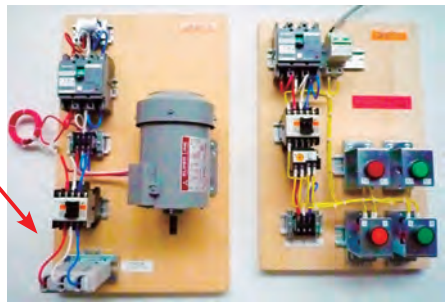
一般用電気工作物の施工技術

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1D010	6/22㈫・23㈬・24㈭・25㈮	9:30～16:30	24H	20名	9,000円
1D011	11/9㈫・10㈬・11㈭・12㈮				

対 象 者	電気設備工事の施工や保守に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者。
概　　要	自家用電気工作物の施工における技能高度化をめざして、保守性や安全性を考慮した施工技術を習得します。詳細は、お気軽にお問合せください。
講習内容	1．電気設備に関する基礎知識 2．機器選定とその設計 3．施工・検査 4．総合実習 5．まとめ  ［実習課題例］
使用機器	電気工事用工具類一式、電気工事用配線器具類一式、テスタ、絶縁抵抗計、接地抵抗計、クランプメータ、その他
持 参 品	筆記用具

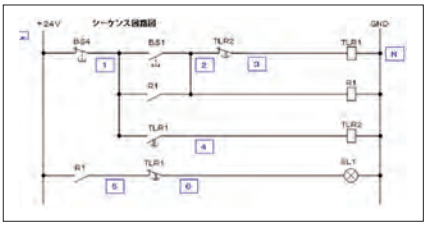
現場のための電気保全技術

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1D030	7/13㈫・14㈬・15㈭	9:30～16:30	18H	5名	19,000円
1D031	1/18㈫・19㈬・20㈭				

対 象 者	設備の保全業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	電気設備保全／電気機器設備保全の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、診断・予防保全に向けた現場に即した総合実習を通して、電気保全技術、故障箇所の特定からその対処方法及び、劣化防止、測定試験、作業の安全対策に関する技術を習得します。
講習内容	1．電圧と電流 2．オームの法則 3．抵抗の直列・並列接続 4．直流電気 5．交流 6．低圧電気の取扱い 7．シーケンス制御 8．電気機器保全実習 生産現場の保全に携わっている方、建物の設備管理に携わっている方、機械技術者で電気やシーケンス制御を実践的に学びたい方、これから電気を勉強したい方等の参加も大歓迎です。お気軽にご参加ください。 このような課題を25個用意してあります。  ［不良個所検出課題］
使用機器	配線用遮断器、漏電遮断器、変流器、電磁接触器、電磁リレー、サーマルリレー、スイッチ、表示灯、ヒューズ、電動機、力率改善コンデンサ、回路計、絶縁抵抗計、クランプ式電流計、回転計、工具
持 参 品	筆記用具

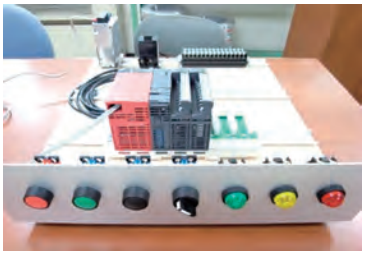
有接点シーケンス制御の実践技術

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1D040	9/1㈬・2㈭・3㈮	9:30～16:30	18H	10名	10,500円
1D041	10/6㈬・7㈭・8㈮				
1D042	12/1㈬・2㈭・3㈮				
1D043	2/15㈫・16㈬・17㈭				

対 象 者	制御回路等の設計・組立・配線作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	電動機と有接点リレーシーケンス制御による運転回路の設計、制御盤組立などの作業の効率化・改善をめざして、安全と品質に配慮した電動機制御の実務作業とその評価方法を習得します。
講習内容	1．概要 (1) 制御機器の種類と構造 (2) シーケンス図の見方と書き方 2．有接点シーケンス制御組み立て (1)制御回路の配線方法 (2) トラブルのない配線をするための技能・技術 (3) タイムチャートから読み取るシーケンス制御回路設計  [シーケンス回路図]
使用機器	電磁接触器、電磁継電器、サーマルリレー、スイッチ、表示灯、ブレーカ、テスタ、各工具、その他
持 参 品	筆記用具

実践的 PLC 制御技術

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1D050	9/16㈭・17㈮	9:30～16:30	12H	10名	6,500円
1D051	10/20㈬・21㈭				
1D052	12/15㈬・16㈭				
1D053	1/6㈭・7㈮				

対 象 者	自動化設備の設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	自動化システムの設計・保守業務における効率化・最適化をめざして、PLC に関する知識、回路の作成、変更法と実践的な生産設備設計の実務能力を総合実習を通して習得します。
講習内容	PLC のシステム構成やラダー図の作成方法を理解し、効率よくシーケンス制御をするための技法を修得します。実習を通して、PLC とランプや MC 等の外部機器の接続方法、制御方法を学習します。 1．ラダーサポートソフトによるプログラミング方法 2．PLC の制御命令とリレー構成 3．PLC と入出力機器の接続  [実習装置]
使用機器	三菱 PLC（Q または Fx シリーズ）、パソコン、ラダーサポートソフト、ボタンスイッチ、表示灯、テスタ、工具
持 参 品	筆記用具

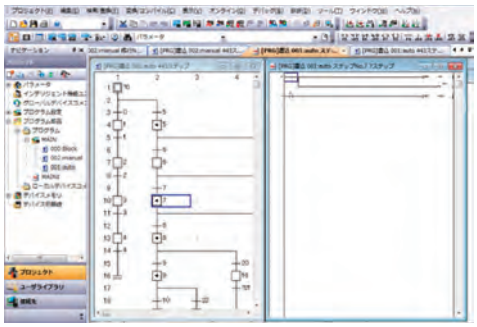
オープンソースによる画像処理・認識プログラム開発

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1D060	10/27㈬・28㈭・29㈮	9:30～16:30	18H	10名	14,000円

対 象 者	画像処理・認識技術関連業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	画像処理・認識技術を活用した応用製品等の設計・開発による高付加価値化をめざして、オープンソースを活用した画像処理・認識プログラム開発に関する技術について実習を通じて習得します。
講習内容	1．画像処理システムの知識 2．開発環境の構築 3．開発技術 4．画像処理プログラムの開発 5．画像認識プログラムの開発 6．まとめ [画像処理用のサンプル画像]
使用機器	パソコン、プログラム開発環境 VisualStudio2013 ＋ OpenCV3.1、Web カメラ
持 参 品	筆記用具

PLC プログラミング技術（SFC）

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1D070	11/17㈬・18㈭	9:30～16:30	12H	10名	6,500円

対 象 者	自動化設備の設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	自動化システムの設計・保守業務における効率化・最適化をめざして、SFC に関する知識、回路の作成、変更法と実践的な生産設備設計の実務能力について総合実習を通して習得します。
講習内容	1．自動化技術概要 2．回路技術 3．総合実習 4．まとめ  [SFC ファンクションシート]
使用機器	三菱 PLC（Q シリーズ）、パソコン、ラダーサポートソフト、ボタンスイッチ、表示灯、テスタ、工具
持 参 品	筆記用具

PLC によるタッチパネル活用技術

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1D080	1/25㈫・26㈬	9:30～16:30	12H	10名	6,500円

対 象 者	自動化システムの設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	自動化システムの設計・保守業務における効率化・最適化をめざして、タッチパネルとＰＬＣを活用した自動化システムの設計に必要な技術を習得します。
講習内容	FA システムに必要不可欠なタッチパネルの役割や機能、PLC との接続や画面開発技術について、実習を通して学習します。普段は取り扱う機会が無いが、将来のために経験しておきたいという方も大歓迎です。 1．概要 2．タッチパネルの接続法 3．各種機能 4．総合実習 5．まとめ ［タッチパネル表示画面］
使用機器	三菱 PLC、三菱 GOT（GT2508）、パソコン、GT-Designer 3、GX-Developer 8 又は GX-Works 2、スイッチ、表示灯、その他
持 参 品	筆記用具

◉ コース案内《居住系》

実践建築設計 3 次元 CAD 技術

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1H010	6/19㈯・6/20㈰	9:30～16:30	12H	12名	10,000円
1H011	10/30㈯・31㈰				
1H012	2/12㈯・13㈰				

対 象 者	建築関連業種に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	建築設計の省略化・効率化をめざして、建築プレゼンテーションソフトによる建築計画図（図面・パース）作成法を習得します。
講習内容	３次元 CG の製作手順 1. 敷地図を描く 2. 平面図を描く 3. 屋根を設定 4. ３D 外観確認 5. テクスチャーを貼り付ける 6. 家具を配置 7. プレゼンボードの作成方法 [課題イメージ]
使用機器	建築プレゼンテーションソフト（3D マイホームデザイナー Pro 9）、パソコン一式
持 参 品	筆記用具

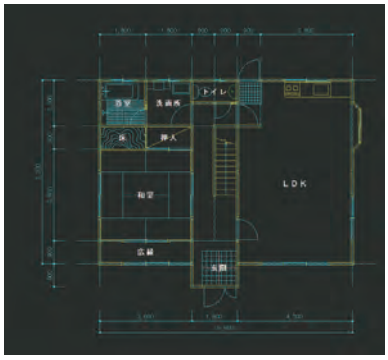
バリアフリー住宅の設計実践技術

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1H020	7/3㈯・4㈰	9:30～16:30	12H	12名	9,500円
1H021	11/20㈯・21㈰				

対 象 者	建築設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者。また、２次元 CAD 若しくは設計シミュレーションソフトの基本操作を習得しており、建築設計に関する基礎知識を有することが望ましい。
概　　要	建築計画の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けたバリアフリー住宅設計実習を通してバリアフリー住宅の設計技術を習得します。
講習内容	1．コース概要及び留意事項 2．概要 (1) バリアフリー住宅とは何か (2) 関連する法規 3．高齢者及び障害者の基本的な動作寸法 4．バリアフリー設計の基準 (1) 部屋別設計のポイント (2) 部位別設計のポイント (3) 設備機器のポイント 5．バリアフリー住宅設計図作成 [課題イメージ]
使用機器	パソコン一式、２次元 CAD ソフトウェア（Jw_cad）、設計シミュレーションソフト（3D マイホームデザイナー）
持 参 品	筆記用具

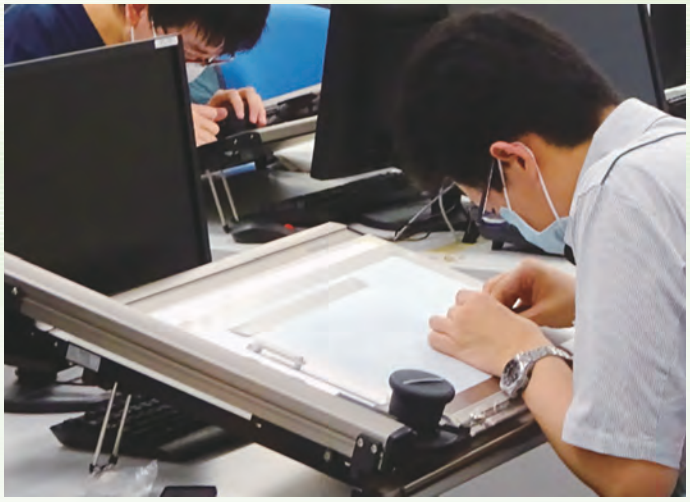
実践建築設計２次元 CAD 技術

コース番号	実　施　日	時　間	訓練時間	定　員	受講料
1H030	8/21㈯・22㈰	9:30～16:30	12H	10名	8,000円
1H031	9/25㈯・26㈰				
1H032	2/19㈯・20㈰				

対 象 者	建築意匠設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	建築図面の生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた図面作成の実習を通して、建築図面に関する作成技術を習得します。
講習内容	1. コース概要及び留意事項 2. 実践的な建築図面作成の要点 ⑴ 図面作成の準備 イ. 用紙・図面尺度、図面範囲設定、レイヤ設定 ロ. 線種と線種設定 ⑵ 図面作成 イ. 図面の要素、作図 ロ. 記号、寸法等 ⑶ 図面修正・データ整理 イ. 印刷図面と図面表現の確認 ロ. 図面表現の訂正・修正等 3. 種々の図面の構築方法 ⑴ 図面間でのデータ活用 ⑵ 尺度の考え方 ⑶ 異尺度混合図面の構築方法と環境設定 4. 演習課題  [課題イメージ]
使用機器	パソコン一式、２次元 CAD ソフトウェア（Jw_cad）
持 参 品	筆記用具

居住系

セミナーの風景



コース名：実践機械製図

コース名：旋盤加工技術

生産性向上支援訓練のご案内

「生産性向上支援訓練」とは、企業や事業主団体の生産性を向上させるための職業訓練です。

訓練は、全国のポリテクセンターに設置した生産性向上人材育成支援センター（生産性センター）が、専門的な知見やノウハウを持つ民間機関等に委託し、企業・団体の課題やニーズにあわせて実施します。

さまざまな内容・分野の幅広い職務階層の方を対象としたカリキュラムで、従業員の生産性向上をお手伝いします。

能力開発セミナーと併せて、生産性向上支援訓練の活用もご検討ください。

お問い合わせ先
生産性向上人材育成支援センター
TEL：0258-33-2455　FAX：0258-33-2422
E-mail：niigata-seisan@jeed.or.jp

◉ 指導員派遣（講師派遣）

事業主等の皆様が自ら行う社員教育や研修に対して、ご相談内容に応じた職業訓練指導員の派遣を行っています。

利用要件

❶ 指導員派遣費は指導員１人１時間当たり5,000円（税込み）です。

❷ 当センターの施設、設備を使用して実施する場合は施設設備使用料、また、事業所に出向いて実施する場合は交通費等の実費がかかります。

❸ 教材、消耗器材等の経費は事業主負担となります。

※ご相談の内容、日程などご要望に添えない場合がありますのであらかじめご了承ください。

指導員の専門分野　訓練指導に関する当センター指導員の主な専門分野

機械金属分野

- 機械加工（汎用機械、NC機械、機械設計・製図等）
- 形成加工（板金、溶接・配管、構造物鉄鋼・製缶等）
- 機械制御（油空圧、プログラマブルコントローラ制御、自動化制御等）
- 生産システム（CAD／CAM等）
- 機械保全（機械保全等）
- 管理技術（安全・環境、生産管理、品質管理等）

電気・電子分野

- 電気工学（電気理論、電気機器等）
- 制御工学（シーケンス制御、プログラマブルコントローラ制御等）
- 通信工学（通信等）

建築・設備管理等分野

- 建築施工（施工計画、施工管理、木造躯体工事、木造仕上げ工事、木造改修・修繕等）
- 建築計画（建築法規、インテリア計画・建築設計・製図等）
- 建築設備（空気調和設備、給排水衛生設備、建築電気設備等）
- 関連（建築関連、木工関連等）

お問い合わせ先　訓練課受講者第二係　TEL：0258-37-0450

◉ 施設設備貸与

事業主または事業主団体等が行う教育訓練、技能・技術研修、各種技能検定やその準備講習などに教室・実習場等の施設設備や機器等の貸与による支援を行っています。

ご利用について

1. 当センターで実施する能力開発業務等に支障のない範囲で貸与いたします。
2. 営利目的または政治、宗教活動及び公序良俗に反すると認められるものは貸与できません。
3. 使用申請の受付は原則として、使用日の2ヶ月前からとします。
4. 貸与に関しては、当センター施設等貸与規定により一部制限がありますので詳細については事前にご確認ください。
5. 閉庁日の施設貸与については、別途警備員料がかかります。
6. 施設設備を毀損、焼失等した場合は、その損害を賠償していただきます。
7. ご利用日前6日以内でのキャンセルについては、未納使用料を徴収いただくとともに、納入済みの使用料は返金できません。
8. 新型コロナウイルス感染防止のため、「3つの密（密閉・密集・密接）」を避けてのご利用となります。
9. ご使用中の一切の事故については、当センターでは責任を負いかねますのであらかじめご承知ください。

021 教室

022 教室・023 教室

コンピュータ室

NC 旋盤

主な施設一覧

教室・実習場名	定員（人）	面積（㎡）	空調（設備の有無）	使用料金（円）／時 通常期 5月～6月・10月	冷房期 7月～9月	暖房期 11月～4月	備考
第1コンピュータ室	16	121.50	有	50円	100円	100円	
溶接実習場	－	455.09	有	100円	400円	400円	指導員配置より貸与
021教室	20	76.95	有	50円	100円	100円	
022教室・023教室	60	149.1	有	100円	200円	200円	分割使用可能
講師控室	6	16.86	有	50円	100円	100円	

現在、当センターでは「実習場建替工事」を実施しているため、ご利用になれない実習場、教室や機器等があります。施設のご利用を希望する場合は訓練課受講者第二係にご相談ください。

なお、工事期間中は駐車場の収容台数が制限されますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先　訓練課受講者第二係　TEL：0258-37-0450

◉ 北陸ブロック能力開発施設のご案内

<ポリテクセンター新潟は
表紙裏面をご覧ください。>

ポリテクカレッジ新潟

交通アクセス

■JR……白新線・羽越本線　新発田駅下車
新発田駅西口より徒歩20分
■車（一般道路）……国道7号線・新新バイパス・聖籠新発田ICより12分
■車（高速道路）……日本海東北自動車道・聖籠新発田ICより12分

〒957-0017　新潟県新発田市新富町1-7-21
TEL 0254-22-1781　FAX 0254-23-2169

ポリテクセンター富山

交通アクセス

■バス……高岡駅より
「富大高岡キャンパス経由城光寺運動公園行」（乗車約20分）
「富大高岡キャンパス」バス停下車（徒歩1分）
■電車……高岡駅より万葉線電車（乗車約20分）
「米島口」下車（徒歩約15分）
■タクシー…高岡駅より（約15分）

〒933-0982　富山県高岡市八ヶ55
TEL 0766-28-6901　FAX 0766-28-6931

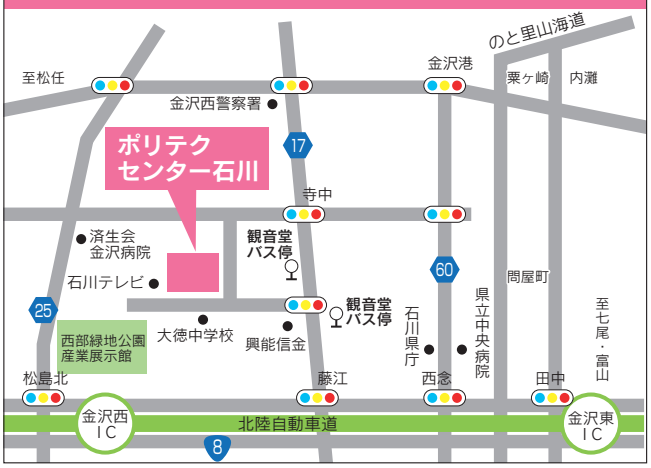
北陸ポリテクカレッジ

交通アクセス

■バス…魚津市民バス（中島ルート）魚津駅前より
「北陸職業能力開発大学校前」下車（徒歩約1分）
■電車…あいの風とやま鉄道「魚津駅」下車、タクシー10分
富山地方鉄道方「西魚津駅」下車（徒歩20分）

〒937-0856　富山県魚津市川縁1289-1
TEL 0765-24-2204　FAX 0765-24-4770

ポリテクセンター石川



交通アクセス

■バス…中橋バス停より
「金石行き、大野港（または大野）行」（乗車約15分）
「観音堂」バス停下車（徒歩3分）
■車……金沢東IC約20分、金沢西ICより約10分、金沢駅より約20分

〒920-0352　石川県金沢市観音堂町ヘ-1
TEL 076-267-8864　FAX 076-267-0819

ポリテクカレッジ石川

交通アクセス

■バス……JR金沢駅(東口)より穴水此の木まで
(乗車約90分)
此の木から短大まで車で約10分
■のと鉄道…JR金沢駅から穴水駅まで電車で約2時間

〒927-0024　石川県鳳珠郡穴水町由比ヶ丘いの45-1
TEL 0768-52-4838　FAX 0768-52-3139

ポリテクセンター福井

交通アクセス

■JR……JR「王子保駅」下車徒歩約20分
■バス…JR「武生駅」より福井鉄道バス
「ポリテクセンター福井前」下車すぐ
JR「武生駅」より越前市民バス
「ポリテクセンター」下車すぐ

〒915-0853　福井県越前市行松町25-10
TEL 0778-23-1011　FAX 0778-23-1013

ポリテクセンター長野

交通アクセス

■JR…… 北長野駅から徒歩10分
(線路沿いの歩道橋を渡り、東へ約1km)
■バス …… (運動公園線)吉田東町停留所から徒歩3分
■長野電鉄…… (長野方面)信濃吉田駅から徒歩15分
(須坂方面)朝陽駅から徒歩15分

〒381-0043　長野県長野市吉田4-25-12
TEL 026-243-7805　FAX 026-243-2797

ポリテクセンター松本

交通アクセス

■JR……平田駅から徒歩20分
■アルピコバス……(寿台線)竹渕停留所から徒歩10分
西原停留所から徒歩5分

〒399-0011　長野県松本市寿北7-17-1
TEL 0263-58-3392　FAX 0263-58-5062

能力開発セミナー受講申込書

新潟職業能力開発促進センター　　宛
次のセミナーについて、訓練内容と「コース案内」を確認のうえ申込みます。

令和　　年　　月　　日

フリガナ 会社名				
所在地	〒　　－		TEL	
			FAX	
担当者	所属部署等		業　種	
	フリガナ 氏　名		企業規模 (該当に○印)	A. 1～29　B. 30～99　C. 100～299 D. 300～499　E. 500～999 F. 1,000人以上
受講区分 (該当に○印)	1．会社からの指示による受講（※1）		2．個人での自己受講	
訓練に関する経験・技能等（※2）				

	コース番号	コース名	実施日	フリガナ 受講者氏名	生年月日（西暦）
1			～	男・女	年　月　日
	就業状況 (該当に○)	1 正社員　2 非正規社員　3 その他(自営業等)		※就業状況の非正規雇用とは一般的にパート、アルバイト、契約社員等が該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。	
2			～	男・女	年　月　日
	就業状況 (該当に○)	1 正社員　2 非正規社員　3 その他(自営業等)		※就業状況の非正規雇用とは一般的にパート、アルバイト、契約社員等が該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。	
3			～	男・女	年　月　日
	就業状況 (該当に○)	1 正社員　2 非正規社員　3 その他(自営業等)		※就業状況の非正規雇用とは一般的にパート、アルバイト、契約社員等が該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。	

※1　受講区分の「1．会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方（事業主、営業所長、工場長等）にアンケート調査へのご協力をお願いしております。
※2　訓練を進める上での参考とさせていただくため、今回受講するコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講履歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲でご記入下さい。（例：切削加工技術作業に約5年間従事）
（注）訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたらあらかじめご相談下さい。

注　意　事　項

お申し込み後のキャンセルは、開講日7日前までに訓練課受講者第二係へご連絡下さい。開講日前6日以内のキャンセルは、受講料の返還はできませんのでご了承願います。

個人情報保護について

- 当センターは、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。必要な個人情報を、利用目的の範囲内で利用させていただきます。
- ご記入いただいた個人情報は能力開発セミナーの受講に関する事務処理（連絡・修了証書の交付、修了台帳の整備・業務統計等）に利用させていただきます。
- 今後、当センターの能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内、サービスを希望しますか？
  □希望する　　□希望しない

お申し込み・問い合わせ先
ポリテクセンター新潟　訓練課受講者第二係
TEL：0258-37-0450　FAX：0258-33-2422

ハロートレーニング
急がば学べ

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構新潟支部
新潟職業能力開発促進センター
ポリテクセンター新潟

〒940-0044 新潟県長岡市住吉３丁目１番１号
TEL 0258-37-0450　FAX 0258-33-2422

交通のご案内

徒　　歩／長岡駅東口より南へ約1.4km　17分
バ　　ス／長岡駅東口７番線より「ポリテクセンター新潟」下車
タクシー／長岡駅東口より約５分

ポリテク新潟　検索